



理念	現場運営	知識	合計
／18	／16	／66	／100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

「法人理念に関する問題」

1. ケアマキスでは、特定技能（外国人）介護士を採用しており、外国人職員と日本人職員が協働する体制を整えています。

理念「問題点を見つけ出し、解決策を提案できる人」に基づき、下記の事例を読んで設問に答えなさい。

【事例】

あなたは特養で働くスタッフです。あなたのフロアに特定技能外国人の C さん（入職 2 ヶ月目）が配属されています。C さんは現場での介護は丁寧で真面目に取り組んでいますが、日本語でのコミュニケーションに不安があり、申し送りや記録業務に時間がかかっています。

ある日、C さんが入浴介助の際に、利用者 D さんの皮膚トラブル（発赤）に気づいたものの上手く伝えられず、看護師への報告が遅れてしまいました。その結果、D さんの皮膚状態が悪化し、家族から「もっと早く気づいてほしかった」と苦情が入りました。フロア内では「外国人職員には難しい業務は任せられない」といった声も一部から上がっており、C さん自身も「自信がなくなってきた」と話しています。

(1) この事例における課題を 2 つ答えなさい。（配点 2×2）

(2) 理念「問題点を見つけ出し、解決策を提案できる人」に基づき、あなたが現場の一員として即座に取るべき行動を 2 つ答えなさい。（配点 2×2）

(3) 外国人職員が安心して働けるように、特養全体で取り組むべき改善策を 1 つ提案しなさい。（配点 2×1）

--

2. ケアマキスでは「求める職員像」として 5 つを挙げています。そこで下記 2 つの求める職員像であなたが介護現場で実際に取り組んだエピソードと取り組んだ結果、自分自身にどのような変化が生まれたか答えなさい。（配点 2×4）

① ご入居者様をはじめ、関わる人すべてに敬意をもって接することができる人

【エピソード】
【自分自身の変化】



- ② 任された仕事を責任感をもって遂行できる人

【エピソード】

【自分自身の変化】

《現場運営管理問題》

1. 介護業界における ICT 導入について下記の問いに答えなさい。

- (1) 現在多くの介護現場でスタッフの業務効率化、負担軽減の観点から ICT の活用が促進されています。そこで I C T を導入し効率化・負担軽減することによりどのようなメリットが考えられますか。下記に 1 つ答えなさい。(配点 2×1)

- (2) あなたが介護現場で働く上で導入したい ICT を教えてください。またその ICT を導入することであなたの現場ではどのような業務改善が期待できますか。どのような課題をどう改善することができるのか具体的に記載しなさい。(配点 2×2)

【導入したい ICT】

【課題に対しての改善イメージ】

- (3) ICT 導入を検討する際に、現場職員の意見を反映させるために必要な取り組みを答えなさい。(配点 2×1)

2. 介護現場でのカスタマーハラスメントについて、以下の問いに答えなさい。(8)

- (1) 利用者や家族から以下のようなことをされた場合、どのように対応するのが望ましいか答えなさい。(配点 2)

- ① ・決められた時間外のサービス提供の強要や「24 時間付きっきりで世話をしてほしい」と 1 日何回も電話をかけてくる。
・気に入らないことがあると、長時間にわたり大声で罵倒する。「馬鹿！」といった侮辱的発言や「お前は使えない」といった人格否定的な発言をする。

- ② 介護現場ではなぜこのようなハラスメントが起こりやすいのか理由を答えなさい。(配点 2)



- (2) 介護保険制度の中で、事業者は職場におけるハラスメント（セクハラやパワハラ）を防止するための必要な措置を講じることが義務づけられています。
あなたの職場で取り組んでいる対策を答えなさい。（配点 2）

--

- (3) 下記のような認知症状がある利用者に対して、このような症状をハラスメントと捉えずにケアをしていくために必要な対応を答えなさい。（配点 2）
- ・ 介助をしようとすると「触るな！」と暴言、暴力がある。
 - ・ スタッフを自分の部下だと思い、長時間の説教や無理な要求を繰り返す。

--

≪知識問題≫

1. 介護保険について、以下の問いに答えなさい。（10）

- (1) 介護保険サービスに関して、正しいものを 2 つ選びなさい。（配点 1×2）

- ① 要支援 1・2 の人が利用できるのは、主に介護予防サービスである。
- ② 要介護認定を受けていない人でも、介護保険サービスを自己負担なしで利用できる。
- ③ 訪問介護は、生活援助や身体介護などのサービスが含まれる。
- ④ ケアプランは本人や家族が希望すれば作成しなくてもよい。
- ⑤ 特別養護老人ホームは、要支援 1 の人でも入所できる。

--	--

- (2) 地域密着型サービスに関して、正しいものを 2 つ選びなさい。（配点 1×2）

- ① 地域密着型サービスは、事業所の指定や監督は市町村が行う。
- ② 地域密着型サービスは、そのサービス事業者のある市町村に住民票がなければ受けられない。
- ③ 認知症対応型共同生活介護は、認知症と診断された要支援 1、2 も対象である。
- ④ 地域密着型特定施設入居者生活介護にケアハウスが含まれる。
- ⑤ 夜間対応型訪問介護は、地域密着型サービスに含まれない。

--	--

- (3) 介護保険のサービス利用は「自立支援」と「利用者本位」を基本理念としています。ここでの利用者本位とはどのようなことをいうか答えなさい。（配点 2）

--

- (4) 介護保険制度について、正しい文章になるように（ ）の語句に○をつけなさい。（配点 1×4）

- ① 第 1 号被保険者は、（ 60 歳以上 ・ 65 歳以上 ・ 70 歳以上 ）が対象である。
- ② 介護保険制度の運営主体は（ 国 ・ 都道府県 ・ 市区町村 ）である。
- ③ 介護保険の自己負担割合を決める要因は、（ 世帯の所得状況 ・ 要介護度の重さ ・ 月の年金受給額 ）である。
- ④ 介護サービス事業所に支払われる介護報酬は（ 毎年 ・ 3 年ごと ・ 5 年ごと ）に見直される。

2. それぞれの介護サービスで認められていることを 2 つ選びなさい。（配点 1×2）

- ① 訪問入浴は当日の状態で入浴から清拭に変更可能である。
- ② 地域包括支援センターは、介護予防ケアプランの作成が行える。
- ③ 訪問介護は、家族分の調理はできないが、利用者分だけであれば行事食の準備は行える。
- ④ 特別養護老人ホームは、希望があれば入居者の金銭管理を行える。
- ⑤ デイサービスは、送迎時に自宅で着替えの手伝いを行える。

--	--



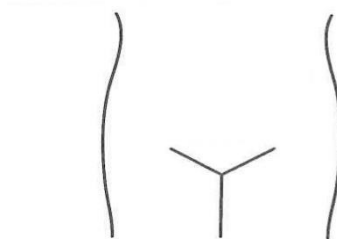
8. 排泄について、下記の問いに答えなさい。(6)

(1) 排便コントロールとして、下剤を服用する以外に出来ることは何か答えなさい。(配点 2)

(2) おむつを使用することでの弊害は何かを答えなさい。(配点 2)

(3) 便秘の利用者への対応として、便秘解消マッサージがあります。

どのように行えばいいか、図に矢印を記入して答えなさい。(配点 2)



9. 介護過程に用いられる用語について、右記の語群より適切な語句を選び、

アルファベットで記入しなさい。(配点 1 × 5)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ① 利用者のもつ力を引き出し、自立支援を促す考え方 | () |
| ② 利用者や家族から情報を収集し、課題を明確にするプロセス | () |
| ③ 利用者の状況や支援の実施状況、目標への到達度を確認すること | () |
| ④ 家族・地域住民・ボランティアなど制度に頼らない支援 | () |
| ⑤ 利用者と信頼関係を築くこと | () |

a. インテーク ・ b. モニタリング ・ c. アセスメント
d. ケアマネジメント ・ e. ラポール ・ f. エンパシー
g. エンパワメント ・ h. スクリーニング
i. インフォーマルサービス ・ j. ライフレビュー

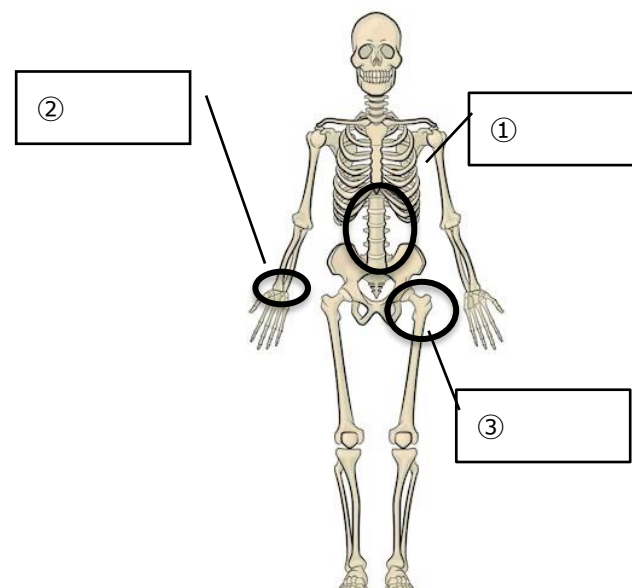
10. 次の記述で、最も可能性の高い認知症の種類を選び、アルファベットで記入しなさい。(配点 1 × 5)

- ① Aさん(72歳、男性)は転倒し後頭部を打ったが、いつもと様子は変わらなかった。しかし4週間たった頃より物忘れが急速に強くなり、ここ数日ふらつくようになった。
()
- ② Eさん(76歳、男性)は、最近「子どもが部屋の隅に立っている」といった“はっきりした幻視”を訴えるようになった。調子の良い日と悪い日の差が大きく、注意力が急に落ちたり、反対にしっかりしたりすることがある。歩行は小刻みになり、手足のふるえも時々みられる。
()
- ③ Fさん(69歳、男性)は、最近「同じ行動を繰り返す」、「急に怒りっぽくなる」など性格の変化が目立つようになった。食事を急に早食いするようになり、甘いものばかり食べたがるようになった。
()
- ④ Dさん(80歳、女性)は、数年前から少しずつ物忘れが増え、最近は「同じ質問を何度もする」ようになった。料理の手順がわからなくなることがあり、財布をどこに置いたか思い出せないことも多い。身だしなみは保たれているが、時間や日付の理解が徐々に不安定になってきた。
()
- ⑤ Iさん(78歳、男性)は、数か月前から歩くときに足が前に出にくく、“すり足”のような歩行になってきた。また家族から見るとトイレが間に合わず、急に失禁してしまうことが増えた。物忘れもあるが、話しかけると理解はできており、性格の変化や幻視などはみられない。
()

a. アルツハイマー型認知症 b. 前頭側頭型認知症 c. 脳血管性認知症 d. レビー小体型認知症 e. 慢性硬膜下血腫 f. 正常圧水頭症

11. 高齢者に多い骨折の部位について下記語群より選択し、正しいアルファベットを記入しなさい。(配点 1 × 3)

- a. 肋骨
b. 腓骨
c. 恥骨
d. 橈骨遠位端
e. 大腿骨頸部
f. 前腕骨近位部
g. 脊椎





12. 食事について、下記の問いに答えなさい。(4)

(1) 利用者の中には、おかずに対してとろみをかけている方もいます。とろみの役割を答えなさい。(配点 2)

--

(2) 食事介助の記録をする際に、書くべきポイントを 2 つ答えなさい。(配点 1×2)

例：食事量、水分量・・・	

13. 福祉用具貸与について、適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ① 特殊寝台(介護ベッド)の貸与は、原則として要介護 1 以上で利用できる。
- ② 車いすの貸与は原則要介護 1 以上と決められている。
- ③ 特別養護老人ホームの入居者は、福祉用具貸与のサービスを受けることができる。
- ④ 福祉用具の購入費支給は、年間の上限額が定められている。
- ⑤ 歩行器は原則として要支援 1、2 でも貸与対象である。

--	--

14. 褥瘡について、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 褥瘡部位へのマッサージが効果的である。
- ② 壊死組織を柔らかくして除去したい時は、ゲーベンクリームを選択することが多い。
- ③ 糖尿病の人は血流障害、神経障害などの免疫低下により褥瘡が発生しやすい。
- ④ 褥瘡予防の一つとして、体位変換は 3 時間ごとに 1 回が一般的である。
- ⑤ 肩甲骨、仙骨、かかととは褥瘡の好発部位として挙げられる。

--	--

15. 業務内で行う計算について、下記の問いに答えなさい。(配点 2×3)

デイサービス（定員 30 名）で、ある月の延べ利用人数が 480 名だった。

① 1 日の平均利用人数を答えなさい。（営業日は 20 日）

--

② 利用率を計算しなさい。

--

③ この平均利用者数に基づき、介護職員の配置基準（利用者 10 名につき 1 名）で必要な介護職員の配置人数（端数切り上げ）を求めなさい。

--